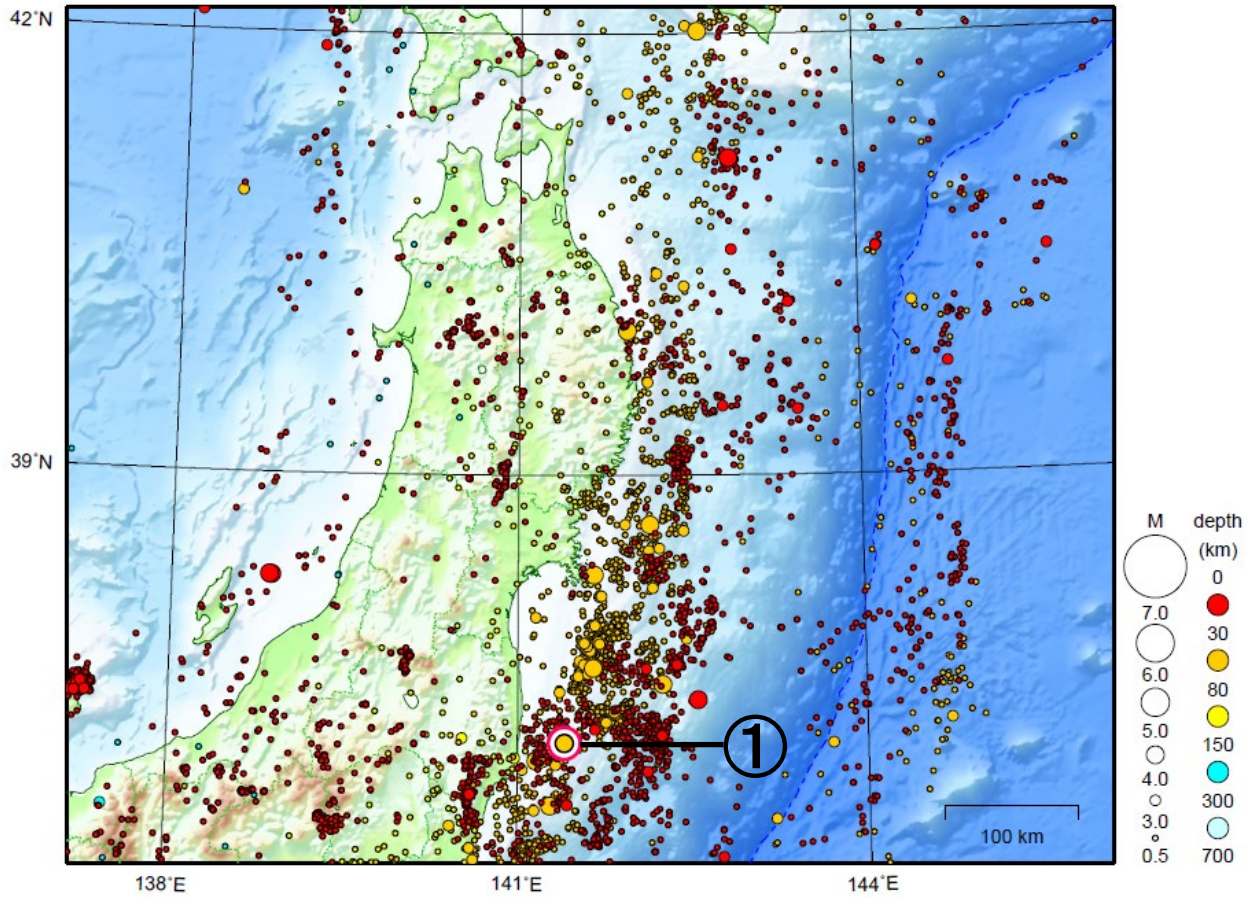


東北地方

2023/04/01 00:00 ~ 2023/04/30 24:00

N=6397



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

① 4月17日に福島県沖でM4.8の地震（最大震度4）が発生した。

（上記期間外）

5月6日に青森県東方沖でM5.7の地震（最大震度4）が発生した。

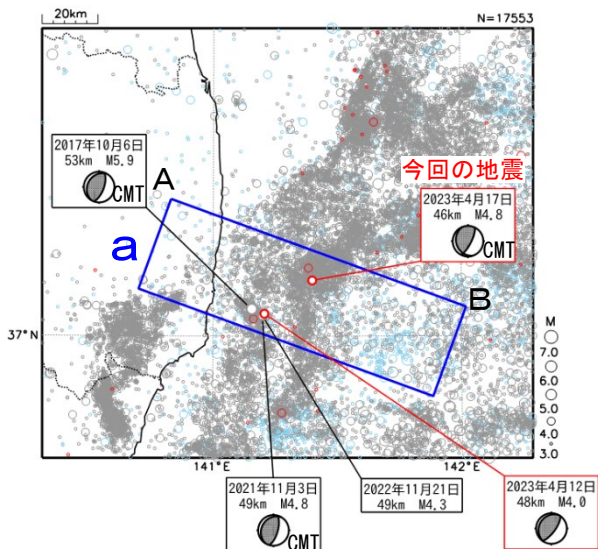
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

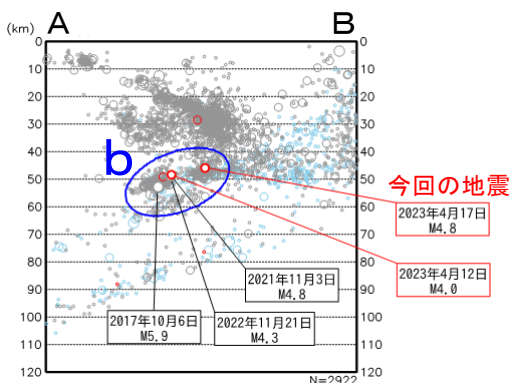
4月17日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年4月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
2023年4月に発生した地震を赤色で表示

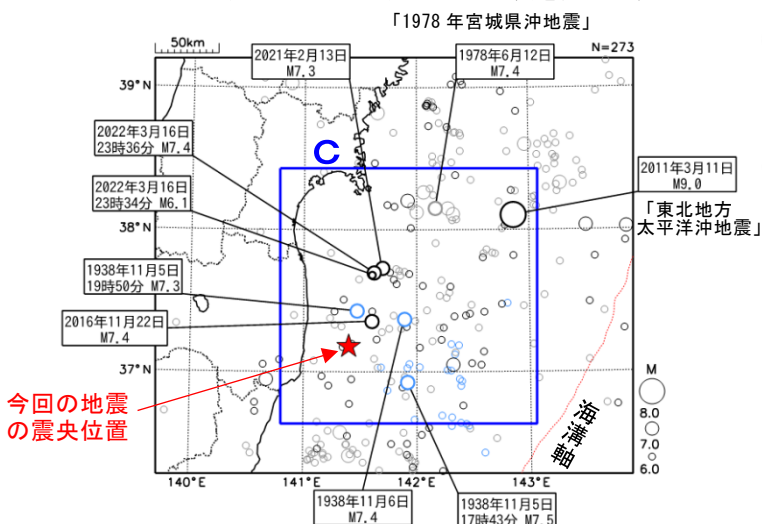


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2023年4月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)
1938年11月5日～1938年11月30日の地震を水色、
2011年3月10日以前に発生した地震を灰色、
2011年3月11日以降に発生した地震を黒色で表示

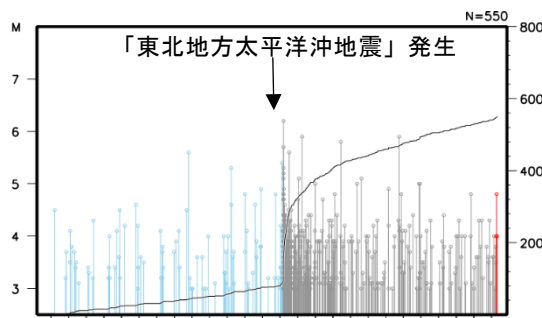


2023年4月17日02時25分に福島県沖の深さ46kmでM4.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

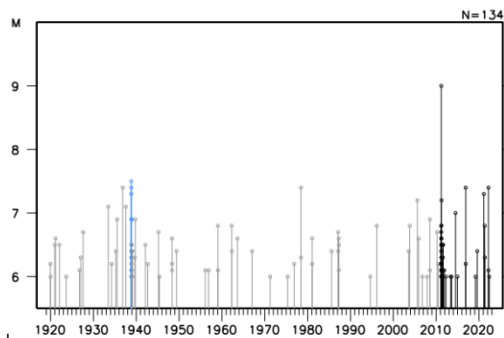
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以前はM5.0以上の地震が時々発生していた。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では「東北地方太平洋沖地震」の発生前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震(最大震度5)が発生し、宮城県花洲で113cm(全振幅)の津波を観測した。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

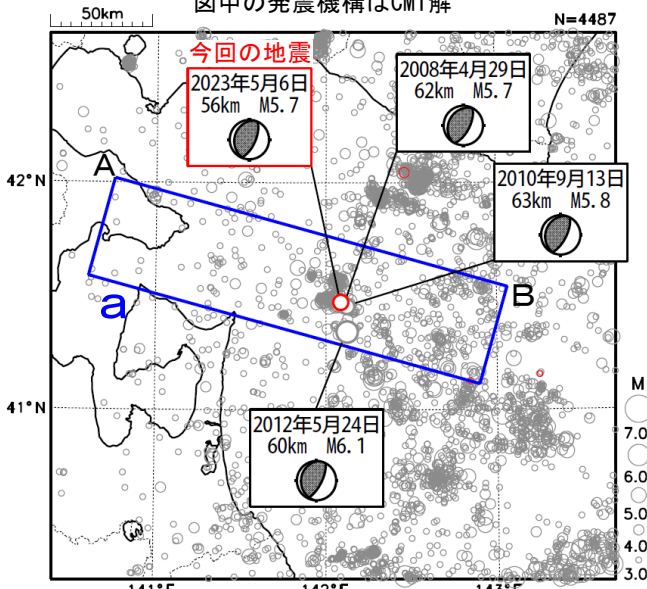


領域 c 内の M-T 図



5月6日 青森県東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年5月8日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2023年5月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

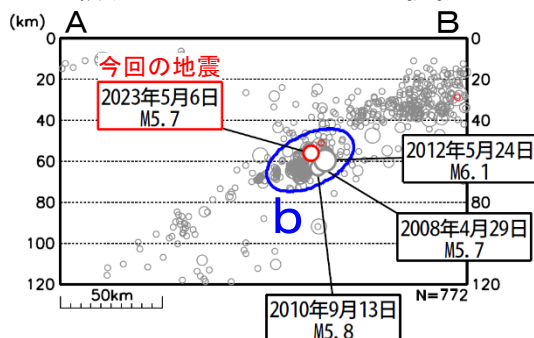


2023年5月6日02時47分に青森県東方沖の深さ56kmでM5.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

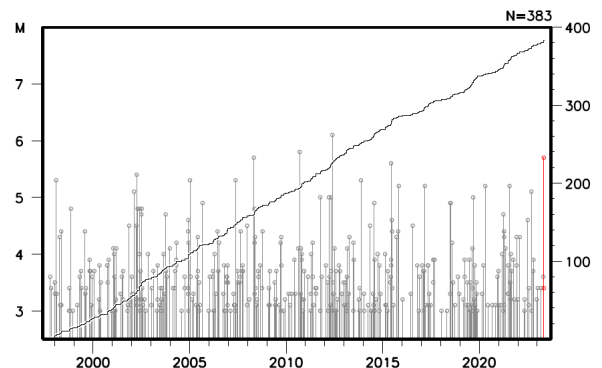
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2012年5月24日に発生したM6.1の地震(最大震度5強)では、青森県で文教施設の一部破損(ガラス破損など)10箇所などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。この中には、「昭和57年(1982年)浦河沖地震」(M7.1、最大震度6)や「1968年十勝沖地震」の最大余震(M7.5、最大震度5)も含まれている。

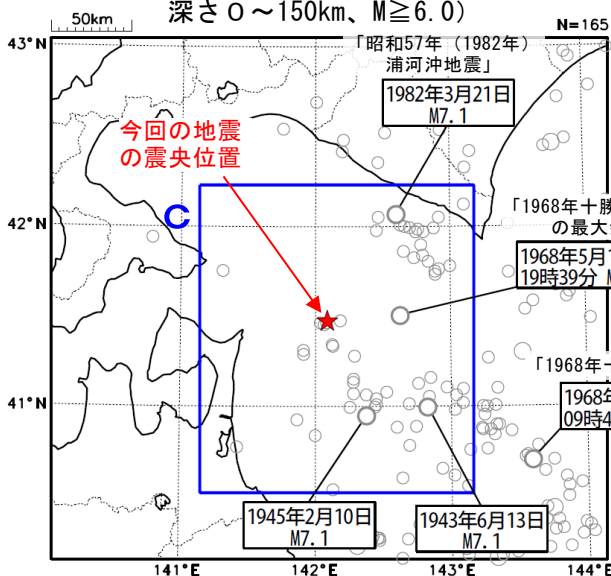
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年5月8日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

